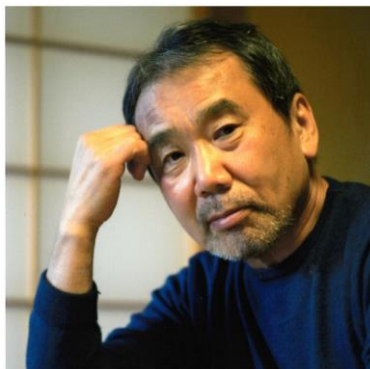


『Mind Charging』

第 82 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 7 月 17 日

村上春樹の名言



少しずつ向上する。

少しずつだけれど、それでも向上は向上だ。

彼の作品のファンを『ハルキスト』と呼ぶほどの、日本が誇る小説家からの言葉です。彼がこれまで生み出してきた数々の作品に対しても、同じような気持ちでコツコツと書き連ねていったのかもしれませんが、1,000 万部ものベストセラーを生み出したということはとても大きな向上だと思いますが、彼の努力の積み重ねの上に花が咲いたということなのだと思います。

私たちにも同じことが言えると思います。大小に関わらず、目標があって達成するためにコツコツと努力を重ねています。なかなか思うような成果や設定したゴールにたどり着けず、イライラしたり疲れたり、『達成できないんじゃないか・・・』と途方に暮れることもあると思います。そんな時に誰が自分を励ましてくれるのか。それは他の誰でもなく“自分自身”だと思います。今はみなさんを導いてくださる保護者の方や先生方がいます。近い将来、みなさんは自分自身の足で社会に踏み込んでいくこととなりますが、必ず今のような『常に支えとなる人がついてくれている』環境が幸せだったと痛感する瞬間が訪れるはずですが、そのまま打ちひしがれてしまうのではなく、『全然いける！』『少しずつだけれど絶対よくなってる！』と、自分で自分の背中を押すことができる人になれば、きっと目標達成に近づくことができると思います。

どうしても、すぐに答えが欲しいと焦ったり、目に見える成果が欲しいと思ってしまいがちです。この言葉のように“少しでも”という状態では、実感がなかなか持てずに苦しんでしまうこともあると思います。しかし、すぐに成果や結果が出るレベルの目標であれば、元々の力でクリアできるということです。自分の力をつけて超えられるハードルだからこそ、得られる実感も素晴らしいと感じ、小さな向上を積み重ねていきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

村上 春樹(むらかみ はるき、1949 年 1 月 12 日 -)は、日本の小説家、文学翻訳家。京都府京都市伏見区に生まれ、兵庫県西宮市・芦屋市に育つ。早稲田大学在学中にジャズ喫茶を開く。1979 年、『風の歌を聴け』で群像新入文学賞を受賞しデビュー。1987 年発表の『ノルウェイの森』は 2009 年時点で上下巻 1000 万部を売るベストセラーとなり、これをきっかけに村上春樹ブームが起きる。その他の主な作品に『羊をめぐる冒険』、『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』、『ねじまき鳥クロニクル』、『海辺のカフカ』、『1Q84』などがある。(Wikipedia 参照)